転校先は男女が一緒に裸で健康診断を受ける学校だった

私が5年生の秋に、父親の仕事の都合で急な引っ越しが決まりました。そこで転校した先の小学校で味わった健康診断の記憶は、今でも思い出すだけで顔が熱くなります。あの頃の私は、ちょうど胸が膨らみ始めて、体育の着替えのときも男子の視線を意識するようになっていた時期でした。

転校する前の学校では、3年生までは男女一緒に健診を受けていましたが、まだみんな幼くて特に意識していませんでした。でも4年生になっ

てから、少しずつ体が変化し始め、男子の前で意識するようになりました。プールの授業で水着姿になるのも嫌でした。

そんなタイミングで転校が決まり、新しい学校は田舎の小さな小学校で、学年ごとに1クラスしかなく、みんな幼い頃からの付き合いという雰囲気でした。転校して間もない4月の中旬、先生から「今年の健康診断は例年通り、5・6年生合同で上半身裸で行うよ」と告げられたとき、耳を疑いました。前の学校では4年生から完全に男女別だったのに、こちらではまだそんな古い慣習が残っているなんて。「絶対に嫌だ……」と心の中で叫びました。クラスの女子た

ちは「毎年やってるからもう慣れた」「すぐ終わるから我慢しようよ」と平静を装っていましたが、私は転校してきたばかりで、何の心構えもなく、頭が真っ白になりました。もし引っ越しがもう少し遅かったら、この苦い体験を避けられたのに、と何度も悔やみました。

健診当日、教室で先生が「上着と下着は全部脱いで、体操着の半ズボンだけにしてください。女子もブラジャーは外してね」と淡々と指示を出しました。男子たちは慣れた様子でさっさとシャツを脱ぎ始めましたが、女子たちもささっとブラウスを脱ぎました。私は窓際の席の男子、佐々木健太くんに背を向けながら、

震える指でブラのホックを外しました。